

光学区(町・地区)まちづくり推進委員会

委員長 花谷 忠厚

(問合せ先) 084-925-4258 (光交流館)

## 事業内容

- (1) コミュニティ育成事業（通年一清掃や祭りなど町内会単位のコミュニティづくり）
- (2) 高齢者活躍事業 [ 9月21日、3月22日一斉清掃 / 6月1日一カローリング大会 / 11月16日、3月15日一グラウンドゴルフ大会 ]
- (3) 運動推進事業（5月25日一ソフトバレーボール大会 ほか）
- (4) 地域児童健全育成事業（通年一少年少女消防クラブ / 7月6日一少年少女親善球技大会）
- (5) 地域安心・安全・防災推進事業 [ 通年一児童・生徒の登下校の見守り活動 / 11月23日一防災避難訓練 / 12月21日一広島市豪雨災害伝承館視察研修 ほか ]
- (6) 地域環境づくり事業（5月11日一グリーンカーテン講座 / 12月7日一春の寄せ植え講習会 ほか）
- (7) 地域福祉活動事業  
（通年一社会奉仕ボランティア / いきいき運動教室 / 料理教室 / 6月29日一ポッチャ大会 ほか）
- (8) 地域の活性化にむけた事業  
（8月2日一盆踊り大会 / 1月18日一とんど祭り / 3月1日一ウォーキング大会）
- (9) 光おはなし文庫（毎月第4土曜日）
- (10) 生涯学習講座（通年 / 9講座）
- (11) まちづくり推進委員会運営事業  
（通年一会議運営、広報活動、毎月第4土曜日一これってどうなん？相談室）



8月「盆踊り大会」



12月「春の寄せ植え講座」

## 成果

各事業の主幹団体や実行委員会で、誰でも楽しく参加でき、世代間の交流が図れるイベントの開催にむけて検討するとともに、反省会など振り返りの機会を設け、次へ活かすよう努めた。さまざまな事業を通して住民のコミュニケーションの活性化を図り、連帯感を高めることができた。

## 課題

- ①町内会加入率の低下や住民の少子高齢化による役員やボランティアの担い手不足、地域の活動に対し無関心・無感動なことによる参加者の減少が常態化している。特に町内会加入率低下による各役員の負荷が大きくなってきているが、その解決に向けた対策が学区単独ではできない状況になっている。
- ②まちづくり推進委員会のホームページや公式LINEの活用などで若い人から高齢者まで幅広い年齢層のより多くの人々に地域活動を周知できるよう努めているが、掲載の内容や費用対効果あるいは手間隙がかかるといったことからみると課題は残る。
- ③各学区間のまちづくり推進委員会の交流の場が少ないので、問題点の共有ができない。

## 課題解決にむけて

- ①「住んでよかったと思える学区とはどんなところか」、「どうすればそんな学区をつくれるのか」を感じてもらえる事業や情報発信を行い、地域住民にもっと関心をもってもらおう。
- ②ホームページや公式LINEに加えて、より多くの町内会でLINEオープンチャットを回覧に活用することにより、回覧板に係る作業が減り、町内会役員の仕事が軽減され、利便性も向上する。
- ③町内会加入率の低下について、市として真摯に取り組んでいただきたい。
- ④学区をブロック分けし、ブロック内で問題点の共有・解決に向けた対策を検討し、市に提案するような体制づくりを希望する。

# 光学区を学ぼう！

(光学区健康ウォーキング大会・「広島市豪雨災害伝承館」視察研修)



光学区健康ウォーキング大会の様子

光学区の「防災倉庫」にはどんな防災備蓄品が入っているんだろう？もしもの時のために、学区の皆さんに知っていてほしい！という思いから、避難訓練とともに、防災倉庫の見学を計画しました。

「これでは備蓄としては不十分ではないか…」そんな意見も今後の課題です。視察研修では、「自分の地域では災害は起こらない」との思い込みで多くの命が奪われてしまう。何よりも避難行動を早期に行うことが大切だと実体験をうかがい、学びの多い時間となりました。

光学区健康ウォーキング大会を企画して3年目。去年までは雨が続き、実施できなかったのですが、「3度目の正直」ということで天気に恵まれ、開催することができました。見慣れた街を皆さんと一緒に歩きながら「アジアの彫刻ウォークラリー」を楽しみました。



防災避難訓練時の備蓄品展示の様子



「広島市豪雨災害伝承館」視察研修の様子

## 光学区のデジタル化 ～ゆっくりだけど便利と安心を届けたい～

「光学区まちづくりラボ（ホームページ）」「光学区公式LINE」の運用をスタートして5年目。光学区公式LINEのお友だち登録は、500人に到達！“世代問わず幅広い年齢層に届けたい”と二次元コードの掲載や、配信方法など工夫を凝らしながら進めています。

2025年度は、『オープンチャット』の活用に入りました。

各町内会での情報共有を素早く、より簡単に届けられることもあり、少しずつオープンチャットを導入する町内会が増えています。

もちろん“やっぱり紙面がいいなあ”とのお声も聞き逃しません。

2026年度も『読みたい紙面・わかりやすいデジタル』を継続していきます。



2027年には光交流館が  
新しくなります！  
進捗状況も配信しています！

